

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年11月10日
【四半期会計期間】	第21期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	ブックオフコーポレーション株式会社
【英訳名】	BOOKOFF CORPORATION LIMITED
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松下 展千
【本店の所在の場所】	神奈川県相模原市南区古淵二丁目14番20号
【電話番号】	(042) 769 - 1511
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員管理本部長 堀内 康隆
【最寄りの連絡場所】	神奈川県相模原市南区古淵二丁目14番20号
【電話番号】	(042) 769 - 1511
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員管理本部長 堀内 康隆
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第20期 第2四半期 連結累計期間	第21期 第2四半期 連結累計期間	第20期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高 (千円)	36,090,393	36,738,314	73,345,487
経常利益 (千円)	943,278	1,604,864	3,157,701
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失() (千円)	320,040	783,359	568,187
四半期包括利益又は包括利 益 (千円)	390,259	820,376	464,732
純資産額 (千円)	11,785,243	13,259,158	12,738,005
総資産額 (千円)	36,121,777	36,748,877	39,107,613
1株当たり四半期(当期) 純利益金額又は四半期純損 失金額() (円)	17.83	43.11	31.57
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	32.6	36.1	32.6
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	300,603	1,615,069	3,544,286
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	977,522	571,317	2,070,800
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	373,332	3,000,429	264,188
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	3,716,813	4,554,750	6,505,179

回次	第20期 第2四半期 連結会計期間	第21期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成22年7月1日 至平成22年9月30日	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	10.16	30.79

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第20期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。
4. 第21期第2四半期連結累計期間及び第20期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
5. 1株当たり四半期(当期)純利益金額又は四半期純損失金額の算定に用いられた普通株式の期中平均株式数は、ブックオフコーポレーション従業員持株会専用信託が所有する当社株式の数を控除して算定しております。
6. 第20期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当社グループ（当社及び当社の関係会社（子会社13社及び関連会社1社（平成23年9月30日現在））により構成）は、「事業活動を通じての社会への貢献」「全従業員の物心両面の幸福の追求」を経営理念とし、中古書籍等の小売店舗「BOOKOFF」を中心に、「リユース」を切り口とした小売店舗の運営及びフランチャイズ事業を行っております。

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当社グループは「ご家庭で不要となったものを、新しい持ち主のために役立てる」という「リユース業」を中核事業として、書籍やCD、子供用品、洋服やスポーツ用品など様々なジャンルのリユースに取り組んでまいりました。今後も引き続き『ものを捨てたくない人が、捨てない生活をするためのインフラとしての役割を果たすブックオフ』＝『捨てない人のブックオフ』を事業ミッションとして、様々なもののリユースを通じて循環型社会の実現に取り組んでまいります。

このような経営方針の下、「BOOKOFF」を中心とした総合リユースへの事業拡大を目指し、大型複合店「BOOKOFF SUPER BAZAAR」と「BOOKOFF」都市型大型店を当社グループの中核パッケージとして出店促進を図っており、当第2四半期連結累計期間において、「BOOKOFF SUPER BAZAAR」を3館出店しました。

経営課題としている収益力向上に対して、粗利率向上と販売費及び一般管理費の削減を進めてまいりました。

粗利率は、前連結会計年度に引き続き商品別の需給バランスを考慮した販売・買取価格の調整、在庫水準の見直しを行うことで向上いたしました。

販売費及び一般管理費は、前連結会計年度に行った全社的な取り組みによるコスト削減効果に加え、店舗運営コストを中心に削減いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高36,738百万円（前年同四半期比1.8%増）、営業利益1,441百万円（前年同四半期比98.7%増）、経常利益1,604百万円（前年同四半期比70.1%増）、四半期純利益783百万円（前年同四半期は四半期純損失320百万円）となりました。

四半期純利益が前年同四半期に比べ大きく増加した要因は、経常利益の増加に加え、前年同四半期に計上した資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額626百万円の特別損失がなくなったことによるものです。

各セグメント別の売上状況は以下のとおりです。

(ブックオフ事業)

当セグメント第2四半期連結累計期間業績は、売上高25,634百万円（前年同四半期比2.7%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間の出店は、グループ直営店9店舗、FC加盟店7店舗となりました（閉店はグループ直営店8店舗、FC加盟店9店舗）。

販売単価の見直しを行ったCDやDVDの売上減少が影響し、既存店売上高は前年同四半期に比べ減少しましたが、新規出店やFC加盟店からの店舗譲受け、またオンライン事業の売上増加が寄与し、増収となりました。

前連結会計年度よりCDやDVDについて需給バランスを考慮した販売・買取価格の調整、在庫水準の見直しを重点施策として取り組んできた結果、前年同四半期に比べ粗利率は増加しました。

(リユース事業)

当セグメント第2四半期連結累計期間業績は、売上高4,933百万円（前年同四半期比10.2%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間の出店は、グループ直営店6店舗となりました（閉店はグループ直営店5店舗、FC加盟店9店舗）。このうち、「BOOKOFF SUPER BAZAAR」内への出店は5店舗となりました。

前年行ったセール等の反動もあり既存店売上高は前年同四半期に比べ同水準となりましたが、新規出店による売上が寄与し、増収となりました。

売上構成の半数を占める衣料品に注力し、需給バランスを考慮した販売・買取価格の調整、在庫水準の見直しを重点施策として取り組んできた結果、前年同四半期に比べ粗利率は増加しました。

(パッケージメディア事業)

当セグメント第2四半期連結累計期間業績は、売上高5,949百万円(前年同四半期比6.8%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間の出店はありませんでした(閉店はグループ直営店1店舗)。

「TSUTAYA」店舗は競合環境が厳しい中、売上は前年同四半期に比べ減少しました。新刊書店事業は震災以降既存店売上が減少したこと、不採算店舗の閉鎖を進めたことにより、売上は前年同四半期に比べ減少しました。

(その他)

当セグメント第2四半期連結累計期間業績は、売上高220百万円(前年同四半期比22.0%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間の出店はありませんでした(閉店はグループ直営店3店舗)。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ1,950百万円減少し、4,554百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの変動要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は1,615百万円(前年同四半期は300百万円)となりました。これは税金等調整前四半期純利益1,463百万円や減価償却費994百万円、のれん償却181百万円等により資金が増加した一方で、法人税等の支払額1,100百万円等により資金が減少したことが主な要因です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は571百万円(前年同四半期は977百万円)となりました。これは閉店等による差入保証金の回収による収入231百万円に対し、新規出店等に伴う有形固定資産の取得307百万円及び差入保証金の差入271百万円、POSシステムへの追加投資等による無形固定資産の取得71百万円、FC加盟店からの店舗譲受けによる支出76百万円が主な要因です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は3,000百万円(前年同四半期は373百万円)減少しました。これは長短借入金の純額が返済により2,021百万円減少したことに加え、長期未払金やリース債務の返済による支出670百万円、配当金の支払による支出398百万円が主な要因です。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

特記すべき事項はありません。

(5) 財政状態の分析

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は17,129百万円(前連結会計年度末は19,333百万円)となり、2,204百万円減少しました。前連結会計年度において、平成23年3月に発生した「東日本大震災」の発生を受け、当面の経営の安定性を確保するため、3月下旬に約20億円を臨時で金融機関より調達していましたが、業況の安定化に伴い返済した結果、現金及び預金が1,975百万円減少したことが主な要因です。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は19,619百万円(前連結会計年度末は19,773百万円)となり、154百万円減少しました。出店投資等により有形固定資産が110百万円増加した一方で、ソフトウェアの償却や除却等により無形固定資産が166百万円減少し、BOOKOFF KOREA INC.を連結子会社化したこと等により投資その他の資産が98百万円減少したことが主な要因です。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債残高は23,489百万円(前連結会計年度末は26,369百万円)となり、2,879百万円減少しました。長短借入金が2,021百万円減少し、未払法人税等が577百万円減少したことが主な要因です。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産残高は13,259百万円(前連結会計年度末は12,738百万円)となり、521百万円増加しました。剰余金の配当を行った一方、四半期純利益が計上されたことにより利益剰余金が395百万円増加したこと、また「ブックオフコーポレーション従業員持株会専用信託」より当社従業員持株会への株式売却が進んだことにより自己株式が114百万円減少したことが主な要因です。

(6) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において完成または取得した主要な設備は、次のとおりであります。

提出会社

事業所名	所在地	セグメント	設備の内容	帳簿価額(千円)					完成年月
				建物及び構築物	車輛運搬具・機械及び装置・器具備品	土地(面積㎡)	リース資産	合計	
栄スカイル店	名古屋市 中区	ブックオフ事業	店舗	18,383	2,649	-	23,352	44,386	平成23年4月
鶴見駅西口店	横浜市 鶴見区	ブックオフ事業	店舗	20,419	567	-	12,184	33,171	平成23年4月
伊丹大鹿店	兵庫県 伊丹市	ブックオフ事業	店舗	20,658	2,542	-	12,760	35,960	平成23年5月
八王子めじろ台店	東京都 八王子市	ブックオフ事業	店舗	2,487	-	-	-	2,487	平成23年6月
248号西友岡崎店	愛知県 岡崎市	ブックオフ事業	店舗	26,254	2,549	-	9,097	37,902	平成23年7月
吉祥寺駅北口店	東京都 武蔵野市	ブックオフ事業	店舗	84,623	3,895	-	16,636	105,155	平成23年8月
菊名駅東口店	横浜市 港北区	ブックオフ事業	店舗	8,651	2,017	-	4,458	15,127	平成23年9月
B・Hobby仙台さくら野店	仙台市 青葉区	ブックオフ事業	店舗	7,945	414	-	6,069	14,429	平成23年5月
B・Hobby248号西友岡崎店	愛知県 岡崎市	ブックオフ事業	店舗	6,043	1,091	-	7,673	14,808	平成23年7月
B・LIFE名古屋平針店	名古屋市 天白区	リユース事業	店舗	4,961	222	-	-	5,183	平成23年4月
B・STYLE栄スカイル店	名古屋市 中区	リユース事業	店舗	15,514	1,959	-	15,812	33,287	平成23年4月
B・STYLE仙台さくら野店	仙台市 青葉区	リユース事業	店舗	37,244	1,911	-	20,377	59,533	平成23年5月
B・SELECT仙台さくら野店	仙台市 青葉区	リユース事業	店舗	5,421	273	-	13,012	18,708	平成23年5月
B・STYLE248号西友岡崎店	愛知県 岡崎市	リユース事業	店舗	56,402	3,576	-	39,316	99,296	平成23年7月
B・SELECT248号西友岡崎店	愛知県 岡崎市	リユース事業	店舗	5,234	1,057	-	16,576	22,868	平成23年7月

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月10日)	上場金融商品取引所名ま たは登録認可金融商品取 引業協会名	内容
普通株式	19,473,200	19,473,200	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	19,473,200	19,473,200	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成23年11月1日から当四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高 (千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日	-	19,473,200	-	2,564,294	-	2,758,083

(6)【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名または名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総 数に対する所 有株式数の割 合(%)
株式会社ハードオフコーポレーション	新潟県新発田市新栄町三丁目1番13号	1,400,300	7.19
大日本印刷株式会社	東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号	1,283,000	6.58
丸善株式会社	東京都中央区日本橋二丁目3番10号	1,183,300	6.07
カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社	大阪府大阪市北区梅田二丁目5番25号	1,146,000	5.88
ブックオフコーポレーション従業員持株会	神奈川県相模原市南区古淵二丁目14番20号	999,204	5.13
株式会社講談社	東京都文京区音羽二丁目12番21号	833,300	4.27
株式会社集英社	東京都千代田区一ツ橋二丁目5番10号	833,300	4.27
株式会社小学館	東京都千代田区一ツ橋二丁目3番1号	833,300	4.27
株式会社図書館流通センター	東京都文京区大塚三丁目4番7号	750,000	3.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	674,500	3.46
計	-	9,936,204	51.02

(注) 当社は自己株式742,782株を保有しておりますが、当該株式には議決権がないため、上記大株主からは除外しております。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 742,700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 18,726,000	187,260	-
単元未満株式	普通株式 4,500	-	単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	19,473,200	-	-
総株主の議決権	-	187,260	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が400株含まれております。
また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数4個が含まれております。

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名または名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
ブックオフコーポレーション株式会社	神奈川県相模原市南区古淵二丁目14番20号	742,700	-	742,700	3.81
計	-	742,700	-	742,700	3.81

(注)上記のほか、自己株式と認識している当社株式が、485,700株あります。これは、平成22年3月3日付で実施した野村信託銀行株式会社(ブックオフコーポレーション従業員持株会専用信託口)への自己株式843,400株の譲渡について、会計処理上、当社と信託口が一体のものであると認識し、信託口が所有する当社株式を自己株式として計上していることによるものです。

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

(1) 退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
取締役社長 (代表取締役)	-	佐藤 弘志	平成23年9月1日

(2) 役職の異動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
取締役社長 (代表取締役)	-	専務取締役 (代表取締役)	-	松下 展千	平成23年9月1日

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,631,936	4,656,105
受取手形及び売掛金	875,576	878,706
商品	9,451,911	9,514,597
その他	2,374,861	2,080,332
貸倒引当金	315	301
流動資産合計	19,333,970	17,129,440
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,209,427	5,243,658
リース資産(純額)	1,577,820	1,625,816
その他(純額)	618,913	647,249
有形固定資産合計	7,406,161	7,516,724
無形固定資産		
のれん	1,271,044	1,289,488
その他	1,272,368	1,087,751
無形固定資産合計	2,543,413	2,377,239
投資その他の資産		
差入保証金	8,294,612	8,349,258
その他	1,629,191	1,470,818
貸倒引当金	99,734	94,603
投資その他の資産合計	9,824,068	9,725,472
固定資産合計	19,773,643	19,619,436
資産合計	39,107,613	36,748,877

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,090,600	991,976
短期借入金	6,446,000	5,070,000
1年内返済予定の長期借入金	4,062,415	3,429,610
リース債務	336,283	340,886
未払法人税等	1,180,091	602,727
賞与引当金	258,340	282,050
店舗閉鎖損失引当金	44,809	53,056
災害損失引当金	106,975	-
その他	3,106,020	3,057,276
流動負債合計	16,631,537	13,827,583
固定負債		
長期借入金	5,877,050	5,864,127
資産除去債務	1,135,553	1,183,466
リース債務	1,248,170	1,271,069
負ののれん	70,238	23,412
その他	1,407,057	1,320,059
固定負債合計	9,738,071	9,662,135
負債合計	26,369,608	23,489,719
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,564,294	2,564,294
資本剰余金	3,098,903	3,098,903
利益剰余金	8,190,662	8,585,982
自己株式	916,007	801,170
株主資本合計	12,937,852	13,448,009
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,199	4,067
為替換算調整勘定	189,647	184,783
その他の包括利益累計額合計	199,847	188,850
純資産合計	12,738,005	13,259,158
負債純資産合計	39,107,613	36,748,877

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	36,090,393	36,738,314
売上原価	15,755,247	15,676,364
売上総利益	20,335,145	21,061,950
販売費及び一般管理費	19,609,551	19,620,099
営業利益	725,594	1,441,850
営業外収益		
自動販売機等設置料収入	111,658	101,607
古紙等リサイクル収入	68,204	113,759
負ののれん償却額	46,825	46,825
その他	209,485	112,145
営業外収益合計	436,174	374,338
営業外費用		
支払利息	136,576	129,429
持分法による投資損失	3,116	3,135
為替差損	46,272	33,582
その他	32,525	45,177
営業外費用合計	218,491	211,324
経常利益	943,278	1,604,864
特別利益		
投資有価証券売却益	-	1,100
店舗譲渡益	17,550	-
災害損失引当金戻入額	-	44,925
移転補償金	-	117,053
特別利益合計	17,550	163,079
特別損失		
投資有価証券売却損	7,096	24,547
投資有価証券評価損	4,057	-
関係会社株式評価損	45,923	-
店舗閉鎖損失	19,202	10,023
店舗閉鎖損失引当金繰入額	20,522	51,284
店舗譲渡損失	8,847	-
固定資産除却損	45,598	10,329
減損損失	147,123	151,699
固定資産臨時償却費	39,106	-
リース解約損	80,564	-
災害による損失	-	56,640
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	626,377	-
その他	14,166	-
特別損失合計	1,058,584	304,524
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	97,755	1,463,419
法人税、住民税及び事業税	282,485	501,256
法人税等調整額	60,201	178,803
法人税等合計	222,284	680,060
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	320,040	783,359
四半期純利益又は四半期純損失()	320,040	783,359

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	320,040	783,359
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,620	6,087
為替換算調整勘定	50,613	30,884
持分法適用会社に対する持分相当額	14	44
その他の包括利益合計	70,219	37,016
四半期包括利益	390,259	820,376
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	390,259	820,376
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	97,755	1,463,419
減価償却費	972,011	994,238
減損損失	147,123	151,699
のれん償却額	112,453	181,446
固定資産臨時償却費	39,106	-
負ののれん償却額	46,825	46,825
賞与引当金の増減額(は減少)	91,022	23,710
貸倒引当金の増減額(は減少)	44,246	3,696
店舗閉鎖損失引当金の増減額(は減少)	21,220	51,284
災害損失引当金の増減額(は減少)	-	106,975
支払利息	136,576	129,429
持分法による投資損益(は益)	3,116	3,135
店舗譲渡損益(は益)	8,703	-
店舗閉鎖損失	19,202	10,023
固定資産除却損	45,598	10,329
投資有価証券評価損益(は益)	4,057	-
関係会社株式評価損	45,923	-
移転補償金	-	117,053
災害損失	-	56,640
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	626,377	-
売上債権の増減額(は増加)	54,073	3,407
たな卸資産の増減額(は増加)	171,836	46,084
仕入債務の増減額(は減少)	333,930	99,290
未払金の増減額(は減少)	211,210	12,792
その他	65,249	139,031
小計	1,244,552	2,778,260
利息及び配当金の受取額	6,249	4,056
利息の支払額	136,980	126,428
移転補償金の受取額	-	117,053
災害損失の支払額	-	77,981
法人税等の支払額	820,744	1,100,263
法人税等の還付額	7,526	20,372
営業活動によるキャッシュ・フロー	300,603	1,615,069

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	70,911	50,389
定期預金の払戻による収入	70,861	70,474
有形固定資産の取得による支出	295,598	307,363
無形固定資産の取得による支出	569,646	71,745
投資有価証券の取得による支出	-	4,125
差入保証金の差入による支出	294,986	271,218
差入保証金の回収による収入	272,484	231,491
店舗譲受による支出	33,000	76,995
その他	56,726	91,446
投資活動によるキャッシュ・フロー	977,522	571,317
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	101,600	1,376,000
長期借入れによる収入	2,300,000	1,550,000
長期借入金の返済による支出	1,615,574	2,195,728
長期未払金の返済による支出	449,968	446,881
リース債務の返済による支出	197,847	223,589
自己株式の処分による収入	87,306	90,289
自己株式の取得による支出	36,920	-
配当金の支払額	358,729	398,519
財務活動によるキャッシュ・フロー	373,332	3,000,429
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,319	673
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	1,058,571	1,957,350
現金及び現金同等物の期首残高	4,711,506	6,505,179
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	63,878	6,922
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,716,813	4,554,750

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
連結の範囲の重要な変更 第1四半期連結会計期間より、従来、非連結子会社であったBOOKOFF KOREA INC. は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。 当第2四半期連結会計期間より、新たに設立したブックオフネクスト株式会社を連結の範囲に含めております。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)			当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)		
1 保証債務			1 保証債務		
保証先	保証債務残高	保証した債務の内容	保証先	保証債務残高	保証した債務の内容
(株)エル・アシスト	1,260千円	銀行借入債務	(株)エル・アシスト	180千円	銀行借入債務
2 当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行13行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当連結会計年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。			2 当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行13行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当第2四半期連結会計期間末の借入未実行残高は次のとおりであります。		
	当座貸越極度額の総額	10,200,000千円		当座貸越極度額の総額	10,400,000千円
	借入実行残高	5,764,000		借入実行残高	4,590,000
	差引額	4,436,000		差引額	5,810,000

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)		
1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。		1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。		
	貸倒引当金繰入額	48,263千円		
	給与手当	2,127,100	給与手当	2,164,080千円
	パート・アルバイト給与	4,884,876	パート・アルバイト給与	5,112,209
	賞与	142,727	賞与	141,611
	賞与引当金繰入額	249,436	賞与引当金繰入額	271,692
	地代家賃	4,867,967	地代家賃	5,044,391
	賃借料	482,194	賃借料	443,701

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)		
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年9月30日現在)		1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年9月30日現在)		
	現金及び預金勘定	3,838,181千円	現金及び預金勘定	4,656,105千円
	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	121,368	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	101,354
	現金及び現金同等物	3,716,813	現金及び現金同等物	4,554,750

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成22年6月26日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	358,729	20	平成22年3月31日	平成22年6月28日

(注)配当金の総額には、ブックオフコーポレーション従業員持株会専用信託に対する配当金16,680千円を含めておりません。これはブックオフコーポレーション従業員持株会専用信託が所有する当社株式を自己株式として認識しているためであります。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年6月25日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	398,519	22	平成23年3月31日	平成23年6月27日

(注)配当金の総額には、ブックオフコーポレーション従業員持株会専用信託に対する配当金13,549千円を含めておりません。これはブックオフコーポレーション従業員持株会専用信託が所有する当社株式を自己株式として認識しているためであります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	ブックオフ 事業	リユース 事業	パッケージ メディア事 業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	24,948,417	4,475,123	6,383,745	35,807,286	283,106	36,090,393	-	36,090,393
セグメント間の内部売上高 又は振替高	130,134	1,717	5,953	137,805	1,198,681	1,336,487	1,336,487	-
計	25,078,551	4,476,841	6,389,698	35,945,092	1,481,788	37,426,881	1,336,487	36,090,393
セグメント利益又は損失()	2,091,351	363,287	11,279	1,716,784	34,808	1,751,592	1,025,998	725,594

(注)1. 「その他」は、「ブックオフ事業」、「リユース事業」、「パッケージメディア事業」に含まれない店舗の運営(婦人服のアウトレットを扱う「Remix Edition」店舗等)及び各事業の店舗の内装工事の企画・設計施工等を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,716,784
「その他」区分の利益	34,808
セグメント間取引消去	32,116
全社費用(注)	993,881
四半期連結損益計算書の営業利益	725,594

(注)全社費用は、主に当社の管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ブックオフ事業」、「リユース事業」及び「パッケージメディア事業」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び使用範囲の変更により回収可能価額を著しく低下させる変化があった店舗について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては147,123千円であり、セグメントごとの減損損失の計上額は以下のとおりです。

「ブックオフ事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、44,035千円であります。

「リユース事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、59,921千円であります。

「パッケージメディア事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、43,166千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	ブックオフ 事業	リユース 事業	パッケージ メディア事 業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	25,634,208	4,933,187	5,949,958	36,517,353	220,961	36,738,314	-	36,738,314
セグメント間の内部売上高 又は振替高	151,870	-	-	151,870	92,111	243,982	243,982	-
計	25,786,078	4,933,187	5,949,958	36,669,223	313,072	36,982,296	243,982	36,738,314
セグメント利益又は損失()	2,584,335	156,022	14,700	2,443,013	37,181	2,405,832	963,982	1,441,850

(注)1. 「その他」は、「ブックオフ事業」、「リユース事業」、「パッケージメディア事業」に含まれない店舗の運営（屋内遊具施設を営むチェーン「KID-0-KID」店舗等）及び各事業の店舗の内外装工事の企画・設計施工等を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	2,443,013
「その他」区分の損失	37,181
全社費用(注)	963,982
四半期連結損益計算書の営業利益	1,441,850

(注) 全社費用は、主に当社の管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「ブックオフ事業」、「リユース事業」及び「パッケージメディア事業」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び使用範囲の変更により回収可能価額を著しく低下させる変化があった店舗について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては125,119千円であり、セグメントごとの減損損失の計上額は以下のとおりです。

「ブックオフ事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、65,227千円であります。

「リユース事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、17,681千円であります。

「パッケージメディア事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、42,210千円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり 四半期純損失金額()	17円83銭	43円11銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	320,040	783,359
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純 損失金額()(千円)	320,040	783,359
普通株式の期中平均株式数(千株)	17,944	18,172
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株 式で、前連結会計年度末から重要な変動があったも のの概要	-	-

- (注) 1. 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するもの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。
2. 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額の算定に用いられた普通株式の期中平均株式数は、ブックオフコーポレーション従業員持株会専用信託が所有する当社株式の数を控除して算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月2日

ブックオフコーポレーション株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 米澤英樹 印

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 鳥居宏光 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているブックオフコーポレーション株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ブックオフコーポレーション株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。